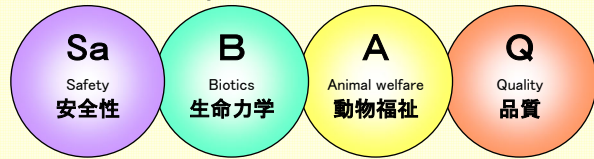


TOKYO Xについて

TOKYO Xとは北京黒豚^{※25}、バークシャー種^{※26}、デュロック種^{※27}の3品種の豚を交配し、5世代に渡って、旧東京都畜産試験場(現東京都農林水産振興財団青梅畜産センター)で改良され、平成9年にできた新しい系統の豚です。この豚を、安全性や品質など4つの生産理念に基づき飼養し、一定の基準を満たした肉について、TOKYO Xとして流通・販売していきます。

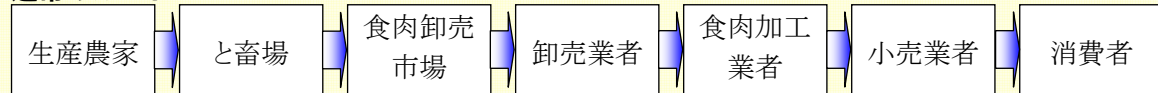
東京 SaBAQ 牧場 (独自の生産理念)



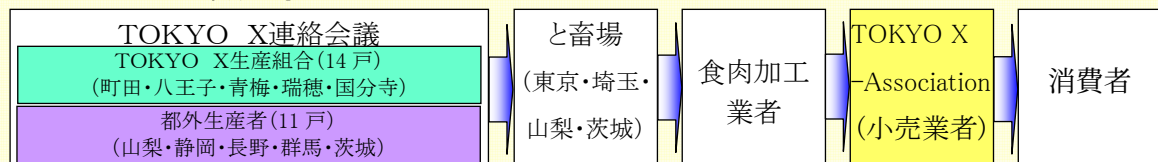
- Safety
安全、だから安心です。
- Biotics
本来の生命の力を活かします。
- Animal welfare
快適な飼育環境の中で育てます。
- Quality
3品種の交雑による新しい系統豚です。

生産・流通の流れ

通常のルート



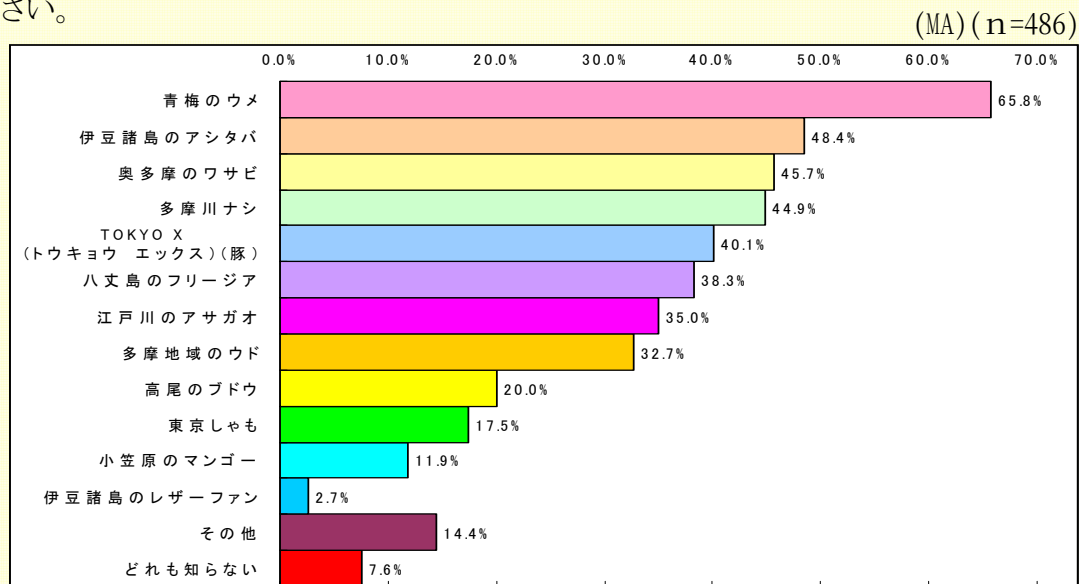
TOKYO Xのルート



東京産の農産物の周知度

平成17年度第3回 インターネット都政モニターアンケート「東京の農業」より

Q1 東京の農畜産物には、都内で生産量の多いコマツナやホウレンソウなどの野菜に加えて、東京の特産物や東京ブランドの農畜産物も多数あります。あなたは次に掲げる東京特産の農畜産物をご存知ですか。知っているものを全て選んでください。



「TOKYO X」を知っていると回答した人…40.1%
「東京しゃも」を知っていると回答した人…17.5%

畜産物の加工販売の例



【都内酪農家ジェラードの直売店】

ジェラードメニュー例

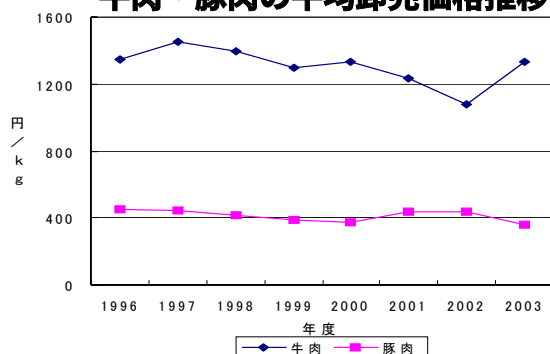
- ◎ ブルーベリー(地元産使用)
- ◎ バニラ(昭島産「美味しくて多摩卵」使用)
- ◎ 枝豆(狛江産使用)
- ◎ みかん(武蔵村山産使用)
- ◎ パッションフルーツ(小笠原産使用)
- ◎ キウイフルーツ(立川産使用)
- ◎ ゆず(青梅産使用)
- ◎ 豆乳(地元の豆腐屋さんのものを使用)
- ◎ 煎茶(瑞穂産「東京狭山茶」使用)

○ 後継者に魅力ある畜産経営の実現

課題

- 全国的に畜産物の価格は低迷しています。都外では生産性向上と規模拡大により生産コストや労働力負担の軽減ができますが、都内での規模拡大には限界があり、生産コスト上昇と労働力負担が大きくなっています。また衛生管理のための検査や記帳なども作業増加やコスト増加の要因になっています。これらのことが、後継者の就農の障害となっています。
- 都内の生産者乳価は他県に比べ高値でしたが、関東地域で同一価格となり、さらに全国的な乳価の低迷により、近年は低下傾向にあります。酪農家の収益を確保し魅力ある経営を確立することが必要です。

牛肉・豚肉の平均卸売価格推移



牛肉はBSEの関係で一時的に価格が上昇している

都内乳価の推移

